

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公表番号】特表2009-521675(P2009-521675A)

【公表日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2008-547266(P2008-547266)

【国際特許分類】

G 01 N 21/75 (2006.01)

G 01 N 31/00 (2006.01)

【F I】

G 01 N 21/75 Z

G 01 N 31/00 V

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光化学センサの製造方法であって、

主表面を有する反射基板を提供する工程と、

少なくとも1つの本質的に微小多孔性のポリマーを含む検出層を前記主表面の少なくとも一部分に添着する工程と、

前記検出層の少なくとも一部分上にほぼ連続的な半反射金属層を堆積させる工程であって、前記半反射金属層は、パラジウムを含みかつ層中に微細な不規則クラックの網目構造を有している、工程と、

前記クラックを広がらせるのに十分な温度で少なくとも前記検出層及び前記半反射金属層を分子酸素の存在下で加熱する工程とを含む、方法。

【請求項2】

主表面を有する反射基板と、

前記反射基板の前記主表面の少なくとも一部分上に配置された検出層であって、少なくとも1つの本質的に微小多孔性のポリマーを含む、検出層と、

前記検出層の少なくとも一部分上に配置されたほぼ連続的な半反射金属層とを含む、光化学センサであって、前記半反射金属層は、パラジウムを含んでおり、前記半反射金属層は、層中に微細な不規則クラックの網目構造を有しており、前記検出層から前記半反射金属層を貫いて延びる複数の突出部が存在する、センサ。